

大会決議

道路は、切迫する巨大地震や、激甚化・頻発化する豪雨災害など、脅威が高まる大規模自然災害への迅速な対応や、経済・産業の発展に欠くことのできない「非常に重要な社会基盤」である。

現在、徳島県内では、「徳島南部自動車道」や「阿南安芸自動車道」の建設、「徳島自動車道」の4車線化等が進められている一方、未事業化区間や暫定2車線区間が未だ多く残されている。加えて、都市部の慢性的な渋滞や、老朽化施設の増加、交通安全の確保といった全国共通の課題への対応も求められる中、こうした状況を乗り越え、将来に希望を持てるよう、一刻も早く全国の地域間格差を解消し、国土強靱化や地方創生を成し遂げることが我々の使命である。

そこで、県内のあらゆる道路整備を強力に進めていくため、次の事項について、特段の配慮がなされるよう強く要望する。

- 一 **国土強靱化基本法に基づく「実施中期計画」をできる限り早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保**
- 一 **阿南安芸自動車道について、**
 - ・「美波・牟岐間」の計画段階評価への早期着手
 - ・「牟岐・海部間」の早期事業化
 - ・「桑野道路」、「福井道路」、「海部野根道路」の事業推進
- 一 **徳島南部自動車道について、**
 - ・「徳島津田・阿南間」の早期供用
 - ・「立江櫛淵・阿南間」の令和7年度の確実な供用
- 一 **徳島自動車道の4車線化について、**
 - ・「藍住・川之江東JCT間」の全線早期完成
 - ・「井川池田・川之江東JCT間」、「脇町・美馬間」の早期事業化
 - ・「土成・吉野川SAスマートIC間」の事業推進
- 一 **徳島南環状道路（国府・上八万間）の整備加速、開通見通しの早期公表**
- 一 **県や市町村が実施する強靱化、老朽化対策、交通安全対策等の道路整備に必要な予算の確保**
- 一 **四国地方整備局において、必要な人員の確保、県南部への事務所の新設や出張所の格上げ等による組織体制の強化**

令和6年8月20日

徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道・徳島自動車道等整備促進決起大会